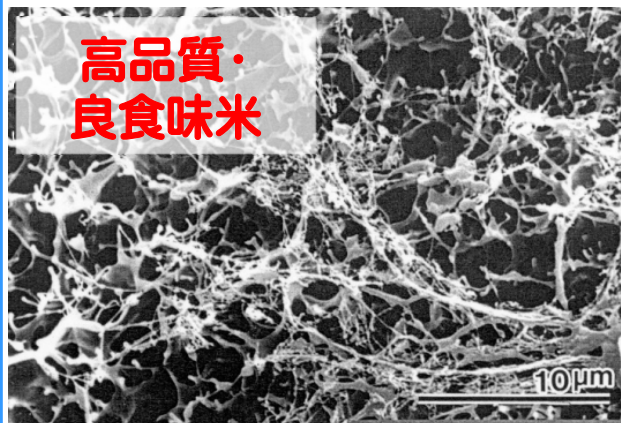




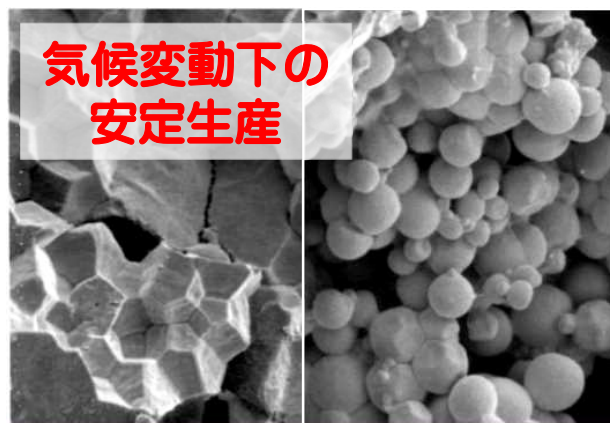
作物の安定・高品質生産と利活用

研究内容

カーボンニュートラルに貢献し、国内でエタノールを効率よく作ります(再生可能エネルギー)。品質がよく、気候変動に負けない作物の安定生産を目指します。



電子顕微鏡で見た良食味炊飯米の表面は柔らかでなめらか。良食味米と低食味米でデンプンの蓄積構造の違いを明らかにし、栽培制御に反映。



高温や低温では米のデンプンが正常に蓄積しない(右の電子顕微鏡写真)。種々の作物の気候変動に負けない安定生産の追求。



国内でエタノールを効率よくつくり(1ヘクタールで約5キロリットル)、カーボンニュートラルに貢献します。紙やペレットもつくれます。

キーワード: 水稲、高品質、食味、高収量、電子顕微鏡、カーボンニュートラル、エタノール、sweet sorghum、気候変動、作物の機能・形態

研究への考え

研究対象は福島県・東北ばかりではなく日本や世界の水田、畑、そして食卓です。高品質でたくさんの食料をつくる作物、カーボンニュートラルに貢献する再生可能エネルギー(国内原料エタノール)を効率よく生産する作物の研究です。身近な食物を科学的に探求、一緒に。